

BEST AVAILABLE COPY

④日本特許庁 (JP)	⑤実用新案出願公報
③公開実用新案公報 (U) 昭63- 49901	④公開 昭和63年(1988)4月5日
②In. Cl. * B 27 B 5/20	登記記号 庁内登録番号 A-7335-3C B-7335-3C
③考案の名称 傾斜付卓上切断機	審査請求 未請求 (全般)

④考案の名称 傾斜付卓上切断機

④実用新案登録請求の範囲
1. 考案の名称 傾斜付卓上切断機
2. 実用新案登録請求の範囲

ベースに被切断材を支持するベースを固定し、前記ベースの後方にベース上面に対し、左右に傾斜自在にヒンジを軸支し、ヒンジとベースを固定する手段を設け、前記ヒンジの上端に、前記ベースに対し擺動自在にハンドルを有するアームを軸支させ、前記アームに固着したギャケースに、モートル軸との刃が平行になるようモートルハウジングを接続させ、モートル軸とセカンドシャフトを直交させ、前記セカンドシャフトと平行にて刃を有するスピンドルを配置させ、前記軸類を回転可に支持すると共に、ペベルギヤ、ギヤ等の伝達手段により、モートルからの動力を伝達し、スピンドルを回動可にしたこととを特徴とした傾斜付卓上切断機。

3. 考案の詳細な説明
〔考案の利用分野〕

本考案は、ベース上面に対してのこ刃を左右に傾斜できる車上切断機に関するものである。

〔考案の背景〕

従来例を第5図にて説明する。第5図は車上丸のこを右側に傾斜させた正面図である。右側に傾斜させると、モートルハウジングの端部とベース上面との距離が近づき、被切削材にモートル端部があたり、切削加工ができないという不具合がおつた。

また、被切削材を反転させ、のこ刃を左側に傾斜させ切削すれば良いが、被切削材の高さが高い場合、被切削材とソーカバーの隙間が小さくなるため、被切削材を手で固定し切削する場合、非常に操作性が悪かった。

また、被切削材の固定が面倒であるため、固定が不完全のまま切削すると、相度が狂ったり、のこ刃により被切削材がとばされ、危険であった。のこ刃を左側に傾斜させ、被切削材に引かれた墨線とのこ刃をあわせる場合、モートルハウジングが邪魔になり、のこ刃と墨線を合わせにくいとい

う不具合も発生していた。

〔考案の目的〕

本考案は、前記した従来技術の欠点をなくし、この種の車上切断機の切断作業の操作性を向上させることである。

〔考案の概要〕

本考案は、のこ刃とモートル軸を平行に配置すれば、モートルハウジングが切断作業の邪魔にならないことに着目し、動力伝達手段を工夫すると共に、左右にのこ刃を傾斜できるようにしたものである。

〔考案の実施例〕

本考案を第1図、第2図、第3図、第4図にて説明する。ベース1上面に被切削材2を支持するバイス3を固着し、ベース1の後端に、ヒンジ4とフット4を支点として傾斜可能にヒンジ5を軸支させる。ヒンジ5にヒンジシヤフト4を中心として左右になる長穴6が設けられ、ネジ7によりベース1とヒンジ5が固定可である。ヒンジ5の前面には、シャフト8を支点として、振動可に、モ

ートルハウジング9、ギャケース10を有するアーム11が保持される。モートルハウジング9に保持されるモートル軸12の先端にペベルギャ13を配し、ギャケース10とアーム11に支持されるセカンドシャフト14にペベルギャ15を配し、前記ペベルギャ13とかみあう。またセカンドシャフト14部のギャ16とスピンドル17とのギャ18がかみあい、スピンドル17に固定されたのこ刃19を回転させる。

上記構成において、ヒンジ5を左右に傾斜させ、アーム11部のハンドル20を押し下げ、切断作業する際、右側にのこ刃9を傾斜させても、モートルハウジング9の端部と、ベース1上面との距離が確保でき、モートルハウジング9の端部が被切削材2にあたり、切削できないという不具合はない。

第3図による実施例では、スピンドルとセカンドシャフトの伝達をギャで行っているが、スピンドルとチーン、ブーリーとベルト等の動力伝達手段も使用しても良い。

また、実施例では、モートル軸とセカンドシャ

フトとを直交させ、ペベルギャで伝達しているがモートル軸とセカンドシャフトを平行に位置させ、ギャで伝達し、セカンドシャフトとスピンドルを直交させ、ペベルギャで動力伝達させても良い。

〔考案の効果〕

モートルの位置を、のこ刃に対しても平行に位置させたため、のこ刃を右側に傾斜した時、モートルハウジングの端部がベース上面や被削材にあたることがなくなる。

これにより、傾斜切断の際、被削材を左手で左側のフェンスに確実に固定できるため、精度が狂つたり、のこ刃により不意に被削材がとばされることもない。また、モートルハウジングがベース上面を覆うことがなくなるため、のこ刃と墨線を合わせる操作性も向上する。

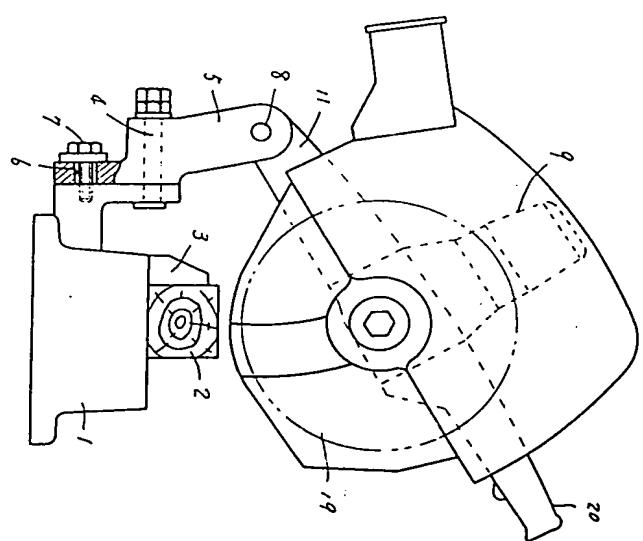
4. 図面の簡単な説明

第1図は本考案になる傾斜付切断機の一実施例を示す卓上丸との側面図、第2図は第1図の背面図、第3図は動力伝達部の断面図、第4図はの

公開実用 昭和63- 49901

て刃を右側に傾斜した時の正面図、第5図は従来例を示す正面図である。

図において、1はベース、2は被削材、3はバイス、4はヒンジシャフト、5はヒンジ、6は長穴、7はネジ、8はシナフト、9はモートルハウジング、10はギャケース、11はアーム、12はモートル軸、13はペベルギヤ、14はセカンドシャフト、15はペベルギヤ、16はギャ、17はスピンドル、18はギヤ、19はのじ刃、20はハンドルである。



四一六

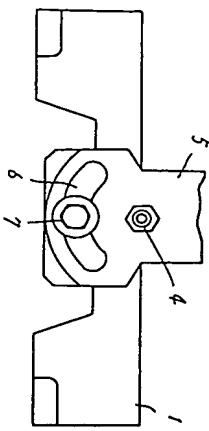


图 2

東京株式会社在所町
立工株式会社在所町
東京新宿區出願人。名承 株式会社日立工株原町

公開実用 昭和63- 49901

図3

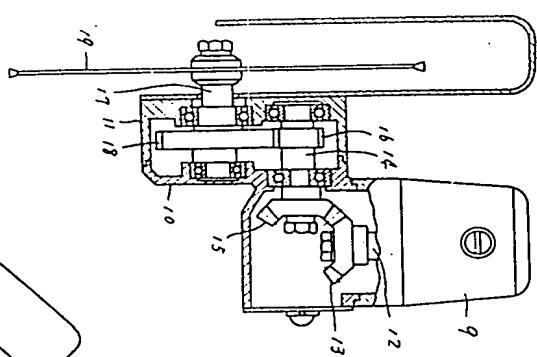
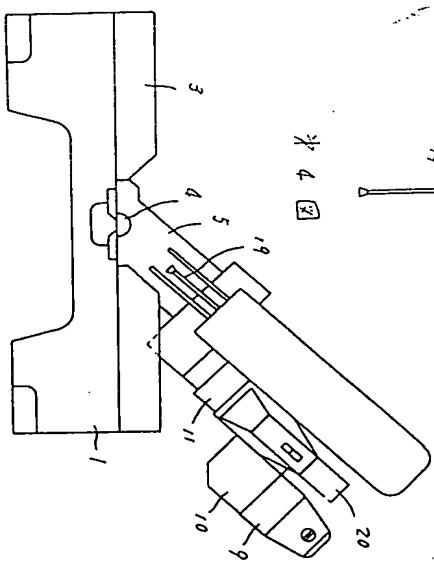
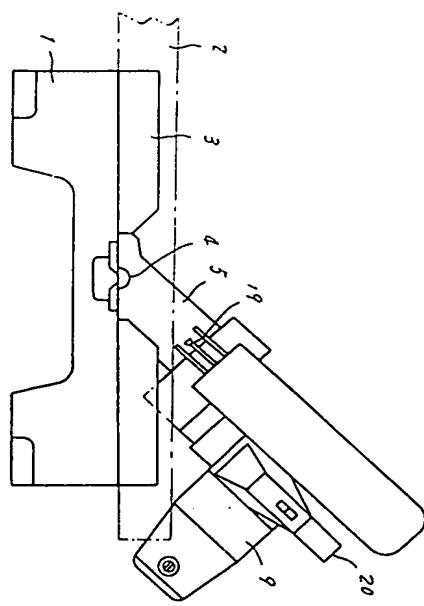


図4



8

図5



**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning
Operations and is not part of the Official Record**

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- BLACK BORDERS**
- IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES**
- FADED TEXT OR DRAWING**
- BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING**
- SKEWED/SLANTED IMAGES**
- COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS**
- GRAY SCALE DOCUMENTS**
- LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT**
- REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY**
- OTHER:** _____

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.